

New N o g a t a 2024、3、17

## 直方ミニバスケットボールクラブだより

### 共育コラム

### 卒部おめでとう—楽しみな明日へ…



今年のチームをふりかえってみると…。それぞれのモチ味を生かすことで、新しいものを生み出すことができるということを実感させてくれました。優れた技能（スキル）は、これまでの直方クラブのバスケットを変えてくれました。「2、14最高のハッピーバースデー、ありがとう」。このことは、ちょっと大げさかもしれませんが、これまでの直方クラブの文化を変えてくれました。

これらを生み出してくれたかげには、多くの人のかかわりがあります。

今年度の指導体制は、私と、二人のコーチ。それぞれのモチ味を発揮して、子どもたちの活動を支えてもらってきました。それによって子どもたちも、私との隙間を埋めて活動を楽しむことができたのではないかと思います。明るく楽しい雰囲気、子どもたちにバスケットを出会わせてもらいました。また、常に、子どもたちのいいところを見つけて伸ばしてもらっていました。

併せて、キャプテンは、いつもチームの前面に立ち、活動が円滑に進むように全体を見ながらみんなをリードしてくれました。しかし、毎年のことですが、初めから思うように進んだわけはありません。それまで、ほぼすべての活動を自分のリードで進めていくなという経験はないわけですから、当然とまどいます。自分ではやっているつもりでも、やれていないことの方が多く、私からきびしく求められることもありました。夏場くらいからでしょうか、ようやく二人のリードによる活動が軌道に乗り始めます。秋口には、活動のほとんどを二人に任せて進めることができるようになりました。この二人がキャプテンでよかったと思ったのは私だけではなかったと思います。

また、二人を支え続けたのが、副キャプテンです。しかし、当初は、どうしてもキャプテンから一歩も二歩も引いた感じになっていたため、節目節目できびしい指摘もし、キャプテンといっしょにチームをリードすることを求めました。キャプテンからは少し遅れましたが、秋口くらいからは、常にキャプテンと相談しながらも、自分のモチ味を発揮し、キャプテンとは違う角度から、積極的に活動をつくることできるようになりました。

さらに、9人の6年生。活動のリードをキャプテン、副キャプテン任せにせず、自分にできることは何かを考え、活動をサポートし続けてきました。多くの気づき、ていねいでやさしいかわり、正確な見方と冷静な判断や対応、まじめにがんばる姿勢、それぞれのモチ味を生かしてキャプテン、副キャプテンを、そして下級生の活動をサポートしてきました。

4月当初約1か月の時間をかけて6年生みんなで何度も話し合い決めたキャプテン、副キャプテンです。自分たちで、互いの意思と責任を確認したことで、その後の活動を進めることができました。ただ、いくら6年生とはいえ、子どもたちですから、活動の過程においては、うまくいかないことや失敗は当然あります。しかし、最初の相互確認があるから、軌道修正ができます。何があっても、人のせいにしない。チームでうまくいかないことがあったとき、誰かが失敗したとき、そのとき自分は何をしたか、何ができたか、常に自分への問い返しを習慣化します。6年生各自にとって、リーダーシップとサポートは相互に作用させて、自分たちで活動をつくる、チームをつくる、ということをめざしてきました。

もう一人、5年生のときから長期に活動から遠ざからなければならなかった6年生がいます。重い病気が判明し、長期入院と治療を余儀なくされました。親御さんは、病気が判明して以来、毎日祈るような思いで今日まで過ごされてきたと思います。幸い順調に回復に向かい、登校もできるようになり、先日小学校を卒業することができました。卒業の姿を特別な思いで見られていたことと思います。クラブでの活動は思うようにできませんでしたが、退部という形をとることなく、体調のいいときを見計らっては、体育館に来て、みんなが活動する姿を見ていました。たまにシュートなどをうって、ボールを扱うこと、体を動かすことを楽しんでいました。「生きる」ということの意味や、そのすばらしさを感じさせてもらっていました。

この世代の子どもたちも、コロナ禍で長期にわたって活動できなかったときを経験しています。バスケットだけでなく、みんなでいっしょにする学習活動も、あそびも、登校すらできなかった時を経験しています。今、日常をとりもどし、また以前のように、あたりまえにバスケットを楽しんだり、登校して友だちといっしょに勉強したり、遊んだり、いろいろな活動ができるようになっていきます。しかし、これからの時代は、先の見通しがききにくい不透明な時代、いつ何があっても不思議ではない時代、と言われていきます。子どもたちは、そのなかを生き抜いていかなければなりません。自分(たち)で考え判断し行動する力。そのために必要な、自分のなかにある弱い自分に勝つ「自律の力」を備えてきたことを忘れず、これからのあゆみに生かしてくれればと願っています。



ゆずり葉

